





【宝探しゲームを自身が主催した場合のシミュレーション】

開催場所 : 某大阪都内のイベントスペースを使用
会場使用料/1日 15万(技術管理料含む)
開催日 : 1日4回開催を5日間実施 → 計20回公演
入場料 : 1人 ¥3300円(6名から参加可能) 1回講演で最大60名参加可
所用時間 : 約1時間半

<全体制作コスト> 【固定費用】

・コンテンツ制作費(制作スタッフ2名×3ヶ月)	120万
・プログラマー人件費(2名分×2ヶ月)	40万
・衣装レンタル費(実施期間一式)	5万
・ゲーム用印刷物一式(実施期間分一式)	15万
・小道具制作一式	10万
・広告宣伝費(ポスターなど含む)	15万

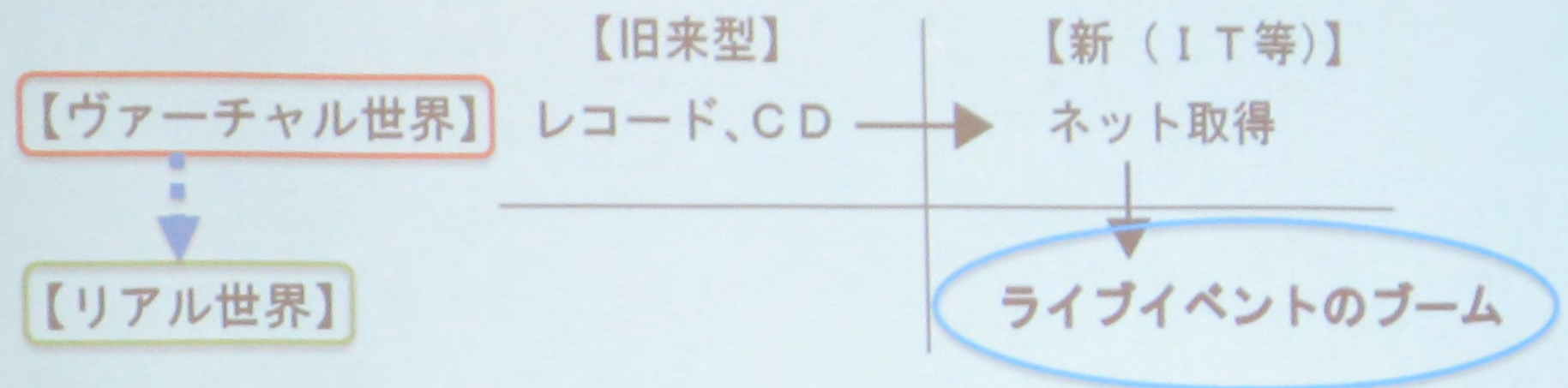
<運営コスト> (※5日間開催費用) 【可変費用】

・会場レンタル費(音響、照明、映像機器一式含む)	15万×5日	75万
・スタッフ人件費(社員、アルバイト)	2万×6名×5日	60万
・スタッフ交通費(新幹線)	5万×6名	30万
・雑費		10万

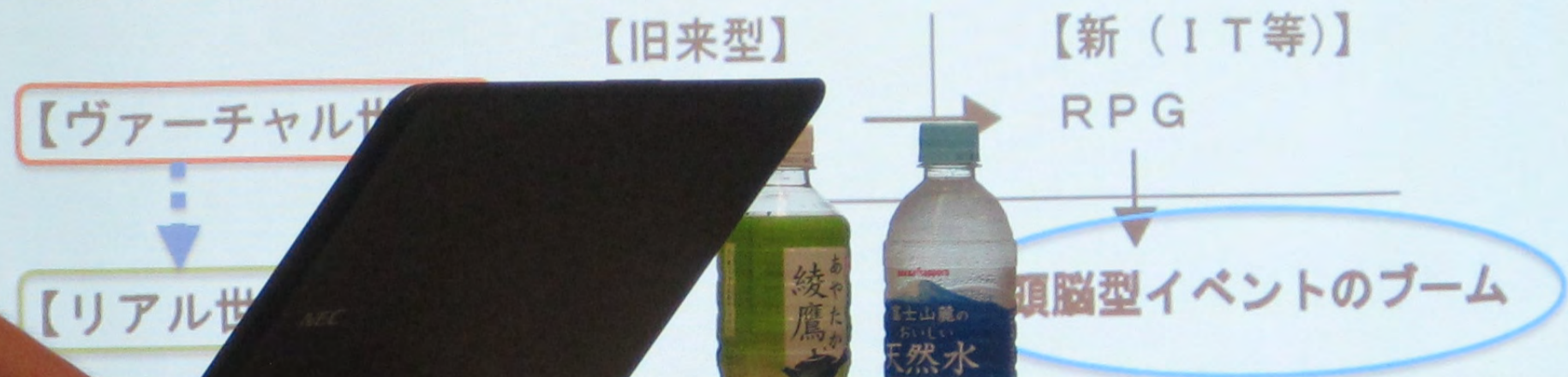
合計 380万

基本的な仮説「リアル世界の新規イベントの隆盛の背後には、
ヴァーチャル世界の行き着いた進化がある」=>リアルへの回帰

(1) 大島仮説=「音楽を聞く体験」



(2) 小林仮説=「なぞとき・サスペンス体験」







Whiteboard content (faintly visible):

- 1. 都市経済政策 (Urban Economic Policy)
- 2. 都市経済政策の重要性 (Importance of Urban Economic Policy)
- 3. 都市経済政策の課題 (Issues of Urban Economic Policy)
- 4. 都市経済政策の方向性 (Direction of Urban Economic Policy)

Projector screen content (faintly visible):

- 1. 都市経済政策 (Urban Economic Policy)
- 2. 都市経済政策の重要性 (Importance of Urban Economic Policy)
- 3. 都市経済政策の課題 (Issues of Urban Economic Policy)
- 4. 都市経済政策の方向性 (Direction of Urban Economic Policy)

Documents on the desk in the foreground:

- 1. 都市経済政策 (Urban Economic Policy)
- 2. 都市経済政策の重要性 (Importance of Urban Economic Policy)
- 3. 都市経済政策の課題 (Issues of Urban Economic Policy)
- 4. 都市経済政策の方向性 (Direction of Urban Economic Policy)